



ペア型レセプターを介した 宿主-病原体相互作用

荒瀬 尚 博士

大阪大学 免疫学フロンティア研究センター
微生物病研究所 免疫化学分野

平成24年2月10日（金）午後17：00-18：30
健康医科学イノベーション棟8階講堂

講演要旨

抑制化レセプターと活性化レセプターからなるペア型レセプターは、自然免疫細胞を中心に様々な免疫細胞に発現し、免疫応答の制御に重要な役割を担っていると考えられている。一方、これらのペア型レセプターは病原体による免疫逃避機構や感染抵抗性にも関与し、病原体とともに進化してきたレセプターであると考えられる。従って、ペア型レセプターとウイルス等の病原体との相互作用の解析は、ウイルス等の病原体に対する免疫応答機構を解明する上で重要であるばかりでなく、免疫システムと病原体がそれぞれどのように進化してきたかを解明する上でも重要である。

問い合わせ先： 免疫学・渋谷 彰 (ashibuya@md.tsukuba.ac.jp)
TEL: 029-853-3281